



活動報告

2009/03/23

【民主党 さいたま市議団】子育て支援医療費拡充に対する見解

＜子育て支援医療費拡充に対する見解＞

3月23日開会の臨時議会において、相川市長から提出された議案に、通院に係る子育て支援医療費助成の対象を中学校卒業前まで拡充するための条例改正と約8億7千万円の補正予算が計上されました。

民主党・無所属の会市議団では、子育て支援策の拡充は、本市として取り組むべき重要政策との観点から最終的には同議案に賛成しました。

同時に、市政に対する監視と提言を果たすべき議会として、次の点については厳しく指摘をするものです。

1、平成21年度当初予算成立後、わずか11日で条例議案と補正予算議案が上程されること自体、異例の措置であり、提案趣旨にある経済対策としての緊急性と事業の恒常性との整合性の問題点について。

2、特に本事業は恒常的に継続して行うべき事業であり、今後毎年およそ38億弱の経費を要する以上、市全体の事業の徹底した見直しによる安定した財政確保に向けた十分な検討と議論の必要性について。

市議団では、今回の議案審査過程において、上記の視点を踏まえて、条例施行時期の見直しの修正案の提案を、また、議案可決後には、行財政改革の徹底による財政規律を求める付帯決議の提案も行いました。

私たちは、二代表制の一翼を占める議会の一員として、市民福祉の向上を目指すとともに“持続可能な”行財政運営に責任ある対応を行っていく所存です。今後とも、ご指導・ご鞭撻をよろしく申し上げます。

2009年3月23日

民主党・無所属の会さいたま市議団 団長 神崎 功